

水害や土砂災害から命を守るために

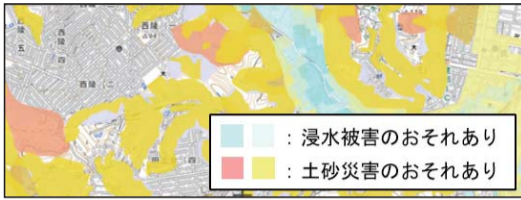
7月の記録的な大雨により、県内各地で多くの被害が生じました。これから、本格的な台風シーズンを迎えます。日ごろから災害に備えるとともに、災害時は危険を感じたら迷わず避難しましょう。

自分や家族でできる日ごろからの備え

- **ハザードマップ※**で自宅や職場、学校周辺に危険箇所がないか確認

※自然災害について、その被害の及ぶ範囲や避難する場所などを示した地図。

ハザードマップの例



ハザードマップポータルサイト

- **避難所までの経路や移動手段を確認**

避難所の過密を避けるため、安全が確保できる場合は、自宅や親戚・知人宅等への避難（分散避難）の検討を。

- **災害時の役割分担、連絡方法などを事前に家族内で確認**



- **5段階の警戒レベルについて確認**

警戒レベル3で避難に時間がかかる方（高齢者等）は避難！
警戒レベル4で全員避難！
※いずれも危険な場所にいる場合

- **非常持出品を準備**

- **生活用品・防災用品**
食料・飲料水、携帯ラジオ など
- **感染症対策用品**
マスク、体温計、消毒液 など



災害の危険が迫ったら迷わず避難！

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

- **雨風が強くなる前、暗くなる前に早めに避難**

- **動きやすく安全な服装で避難**

長靴は厳禁。動きやすい運動靴などで避難を。

- **声をかけあい、集団で避難**

高齢者や障害者、子どもなど避難に時間がかかる方への配慮を。



- **避難所までの移動が危険なときは、高い建物や山・川から離れた建物へ避難**

- **外出すら危険なときは、建物内のより安全な場所へ避難（上層階、山からできるだけ離れた場所）**

災害に関する情報はこちら

- **鹿児島県防災WEB**

避難・被害情報や気象情報、河川砂防情報などを確認できます。



- **鹿児島県危機管理防災局ツイッター**

（ユーザー名：kikikanrikago）



問い合わせ先

県庁災害対策課 ☎099(286)2276

世界文化遺産登録5周年！「明治日本の産業革命遺産」

本県が平成17年に開催したシンポジウムから世界遺産登録への取り組みが始まった「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」。平成27年に世界文化遺産に登録され、今年7月に5周年を迎えました。

「明治日本の産業革命遺産」とは



この遺産は、日本が江戸時代の終わりから明治時代にかけてのわずか50年あまりの短期間で、西洋の新しい技術と日本の技術を融合させ、非西洋で最初の産業国家となっていたプロセスを物語るものです。

その構成資産は、九州・山口を中心とした8県11市に23あり、本県にはそのうち最も古い段階から始められた島津斉彬の集成館事業に関連する3つの資産（旧集成館、寺山炭窯跡、関吉の疎水溝）があります。

現在日本は、世界でもトップクラスの産業国家となりましたが、その近代化の始まりをたどると、19世紀半ばに斉彬が手がけた集成館事業に行き着きます。

今の私たちの暮らしは、斉彬が描いた夢を受け継ぎ、その実現に向けて知恵と工夫を積み重ねてきた多くの人々の営みの上に築かれているのです。

おうちでも世界文化遺産を楽しもう！

人気インフルエンサーと一緒に楽しく学べる動画配信中！

人気インフルエンサー“ゆうこす・ももち”が、県内の構成資産を巡ります。学芸員等の解説もまじえ、8分程度で分かりやすく魅力をお伝えします。



Vol.1



Vol.2

VRアプリで操業当時の集成館事業を見てみよう！



反射炉のCG復元図

“現地で見るともっと楽しい”
無料アプリ「ストリートミュージアム」をダウンロードし、「薩摩の近代化（集成館第一期、第二期）」からご覧ください。



ダウンロードはこちら

登録5周年記念パネル展 開催中！

登録5周年を記念して、構成資産の詳細や登録までの歩みなどを紹介するパネル展を開催しています。

歴史・美術センター黎明館 1階ロビー	8月1日(土)～30日(日)
かごしま県民交流センター 2階展示ロビー	9月9日(水)～30日(水)

※各種パンフレット（無料）もご用意しています。

問い合わせ先

県庁世界文化遺産課 ☎099(286)2364